

## おの100がなければ今の私はない！！

2010年8月。学生としておの100に関われる最後の暑い夏が終わりました。気が付けば、いつの間にかおの100が私の生活の一部となっていました。

私がおの100に足を踏み入れたのは大学1年生の時です。熱心に勧誘を下さる先輩の熱意に負け、説明会に参加しました。そこで観た、暑い熱い4泊5日を凝縮したDVDは、今でも忘れられません。あの時の熱意に負けていなければ、私がおの100に関わることはなかったと思うと、有り難くて仕方がない出会いでした。そしていつしか、私を勧誘して下さい先輩のようになりたい！！と思うようになりました。

4年間を振り返り、私が年々実感していったことは、“観えない力の存在”です。1、2年生と2年間、本隊付きとして100kmを歩いていた私は、3年生の時に初めて別働隊の係りに、そして係りリーダーに任命していただきました。私自身、本隊として歩く方が自分に向いていると思っていたため、任命された時の衝撃は今でも忘れられません。

初めての別働隊。不安で仕方がありませんでしたが、そこから私の転機だったのではないかと感じています。係りリーダーとしての不甲斐なさ、そして別働隊で観えない力となり、子ども・学生を支えることの喜びを実感することが出来ました。

これまでは自分の目に見えているものばかりに目がいていました。しかし、「輝いているものの裏では必死に支えてくれている人がいる」これを知ることができ、そして別働隊として体験したことで、一層観えない力を有り難く思うようになりました。

また、4年間参加させていただいて、「おの100とはただのきっかけに過ぎない」ということを改めて感じるようになりました。もちろんおの100は多くの学びの場ではあります。しかし、自分が求めようとすればするほど、チャンスを与えてくれる、チャンスに気づくことができる場所だと思うようになりました。日常生活もおの100同様、様々な“チャンス”が転がっています。自分から積極的に行動することで、そのチャンスに気付ける、チャンスを掴めるということを実感できたのも、おの100のおかげでした。

これまででどれだけ自分が成長できたかはわかりません。しかし、本当の成長は社会に出てからだと考えています。おの100では社会に出るまでの土台づくりをしっかりとさせていただきました。来年の4月からはその力を試す時だと思っています。

失敗もたくさんすると思います。しかし、「出来る、出来る、必ず出来る！」の精神を忘れず、おの100での学びを社会に還元していくためにも、精一杯行動していきます。

最後になりましたが、4年間支え続けてくださったKAKIさん、みんなの笑顔の源のねえやん、いつも温かい声援を下さった市民の方々...本当に多くの方々に支えて頂きました。皆様方の支えがなければ、私は途中で挫けてしまっていたと思います。

本当にありがとうございます！

そして、これからもよろしくお願ひいたします！！